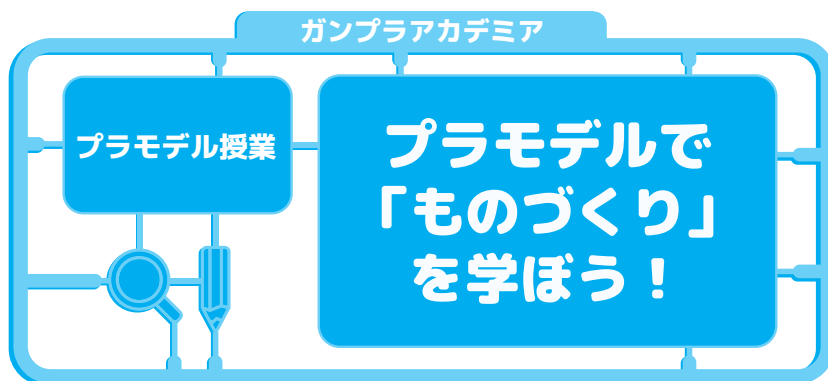




小学校向け
授業パッケージ
のご紹介

BANDAI SPIRITS
BANDAI HOBBY CENTER



- ★教室にしながら プラモデル工場見学＆組み立て体験が可能
- ★小学校5年生 社会「工業生産」の単位に対応。キャリア教育やSDGs学習にも！
- ★体験用プラモデルに加え、指導案・ワークシートなど、授業に必要な一式を完備
- ★令和5年度（2023年度）は3400校で28万人を超える児童が参加しました

推奨学年（学習の設定例）

- 小学校5年生 社会「我が国の工業生産」 単元の導入や発展として
- 総合的な学習の時間／特別活動 での キャリア教育、SDGsの学習として

※当教材は抽選制ではありません。
応募条件を了承される小学校様には、
洩れなく提供させていただきます。

セットになっているもの

※無料で提供します
※ウェブサイト(<https://www.bandaispirits.co.jp/hobbycenter/>)から事前のお申し込みが必要です

▶ プラモデル工場の動画（18分30秒）

動画はウェブ配信いたします。年度末（3月31日）まで回数制限なくご視聴いただけます。

📦 プラモデル組み立て体験キット（1人1キット）

工具や接着剤不要で作れます。"通常版（4色成形）"と再生原料で成形した"エコプラ版（1色成形）"の2種類からどちらかを選択できます。組み立て所要時間は平均的に45分です。

モデル指導案（PDF）

授業の流れや発問、時間配分などを記載しています。
小学校社会5年「工業生産」に準拠した内容です。

ワークシート（PDF）

動画視聴時にご活用いただけます

掲示用画像データ

児童の理解を助ける資料としてお使いいただけます



学校でご用意いただくもの

教室から接続できるインターネット環境

モニターもしくはプロジェクター
動画視聴のため

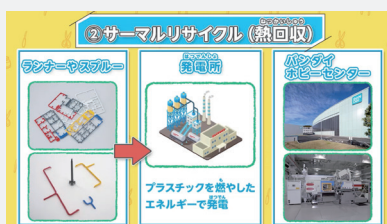
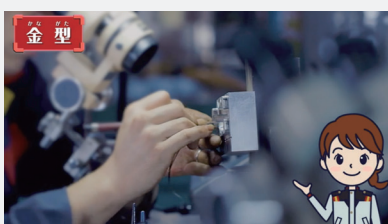
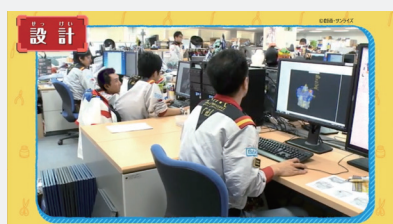
プリンター

指導案、ワークシート等の印刷のため

▶ プラモデル工場の動画「プラモデルができるまで」（18分30秒）の内容

※収録済みVTR映像の配信です

- ・プラモデル工場（バンダイホビーセンター）の内部を紹介
- ・プラモデルの企画から設計・試作・金型・生産までの各工程や、技術の発展をわかりやすく紹介
- ・各工程を担当している社員が、それぞれの工夫や努力を説明
- ・プラスチック廃材のリサイクルなど、持続可能なものづくりのための取り組みについての説明 など



授業の目標

- ①プラモデルを題材に、工場における製造工程や、優れた最新技術の発展を理解できる。
- ②プラモデルの生産に関わる人々の努力や、仕事に対する意識を理解できる。
- ③優れたものづくりの技術を未来に持続させていく上での課題や、その解決策について、自分なりの考えを持つことができる。

授業の展開例

※工場見学動画の視聴のみ（本時のみ）でもご利用いただけます

時間	学習活動
2分	導入 ・プラモデル工場の動画から最新の技術や持続可能なものづくりのための工夫を学ぶことを伝える。
19分	展開①動画視聴  ・工場見学動画を視聴し、プラモデル生産に関わる仕事、最新技術、環境に配慮した取り組みを学習する。
12分	展開②プラモデル生産に関わる人々の工夫や努力を学ぼう！ ・動画を振り返り、品質の良い製品を作るための工夫や努力を学習する。 ・昔と今の技術を比較し、現在では時間や労力、資源を節約した効率の良いものづくりが行われていることを学ぶ。
7分	展開③持続可能なものづくりのための取り組みを学ぼう！ ・様々なリサイクルの技術や、未来に技術を継承するための取り組みを学ぶ。
5分	まとめ ・本時の振り返り ・感想の共有

事前学習
45分 × 2コマ

 **プラモデルの組み立て体験**
(約60分)

製造工程や生産の仕事について
予想を立てる。
※指導案あり

本時
45分 × 1コマ

 **プラモデル工場の動画視聴**
(18分30秒)

授業の目標を理解し、感想をクラスで共有する。
※指導案・ワークシートあり

発展学習
45分 × 1コマ～

今回学んだことを発展させる。
※発展課題の例あり

ランナー粒断機と射出成形機を搭載したトラックが小学校を訪問し、体験用プラモデルを作った後に残るランナーを児童の目の前でマテリアルリサイクルする、発展授業用のオプション「マイプラスチェックステーション」も開始します。詳細は「ガンプラアカデミア」のホームページを確認ください。



専門家からのコメント



藤川大祐

千葉大学教育学部 教授

探究的な学習の重要性がますます増しています。本授業で用いる映像教材では、ものづくりに関わる最新技術や、持続可能なものづくりのための取り組みが紹介されており、日本のものづくりにおける技術の革新やSDGsに関する取り組み等についての探究学習につなげる入り口としても効果的だと思います。



古谷成司

元公立小学校校長
NPO法人企業教育研究会

実際に工場見学に行くと、ガラス越しでの見学が多く、一人一人がじっくり作られている様子を見ることは難しいです。しかし、本教材では、プラモデルを組み立てる体験を通してものづくりの興味を高めたところで、映像等でじっくりとプラモデルが作られていく工程に関心をもって見るという学習が期待できます。さらに、気になるところはストップしながら再度観察できるというのもバーチャルのよさです。そして、最終的に日本のものづくりを学ぶことに発展させていく。実際の工場見学以上の成果が期待できるものと考えます。

授業実施までの流れ



応募条件

※本授業パッケージは小学校での授業を対象に無料で提供します。

対象地域	全国
推奨学年	小学校5年生
設備	工場見学動画の配信のため、教室から接続できるインターネット環境が必要です。 教室のモニターやプロジェクター等に接続してご視聴ください。

- ①ご応募は文部科学省が定める小学校に限らせていただきます。学校の授業時間外での実施はお断りしております。
- ②プラモデル授業実施のアンケートにご回答いただけること。
- ③学校名、学年、参加児童数、アンケート回答、提供写真を弊社ならびに当グループがWebサイトや広報で使用・公表することを了承いただけること。
- ④お申し込みに伴うご連絡や組み立て体験キットの受け取りなどにご協力いただけること。
- ⑤組み立て体験キットは学校内で授業時間内に組み立てを行っていただけること。
（組み立て完成後はお持ち帰りいただけます。未組立て品の学校外への持ち出しはご遠慮ください。）
- ⑥日程やその他の条件によってお受けできない場合もございますのでご了承ください。
- ⑦お申し込みは、児童1人につき年1回となります。同年度内に同一児童へ複数回実施となるようなお申込みはご遠慮ください。

お問い合わせ先

プラモデル授業「ガンプラアカデミア」に関して、お気軽にお問い合わせください。

E-mail : bandaihobbycenter@bandai-sp.jp ウェブサイト : <https://www.bandaispirits.co.jp/hobbycenter/>

バンダイホビーセンターについて

バンダイホビーセンター（BANDAI HOBBY CENTER）は、静岡市葵区にある株式会社BANDAI SPIRITS（旧：株式会社バンダイ）ホビーディビジョン クリエイション部の事業所兼工場で、プラモデルの企画から生産までを一括して行っております。

2006年から訪問型の工場見学を開催し、延べ398校・11,492人の見学者を受け入れてまいりました※。2019年10月以降は見学の受け入れを行っておりませんが、全国の教室にしながら「ものづくり」の現場を体感し、学びにお役立ていただけるよう、本パッケージを開発いたしました。令和5年度（2023年度）は全国3400の小学校で28万人を超える児童に参加いただきました。

※2022年3月31日時点の実績です。



所在地：静岡県静岡市葵区長沼500-12

株式会社BANDAI SPIRITSについて

総合エンターテインメント企業グループであるバンダイナムコグループの2018年度の事業再編に伴い、プラモデルやフィギュア等のハイターゲット（大人層）向けの模型玩具事業と“キャラクターくじ”などの景品事業の統合のために設立された会社です。



BANDAI SPIRITSのプラモデルについて

アニメ作品などのキャラクターのプラモデルを得意とし、様々なキャラクターの外観やアクションを「実在するようにリアルに再現」し、「組み立てが平易で楽しく、誰でもつくる喜びが得られる」ことの両立をテーマに技術開発を進め、世界規模でのプラモデルユーザーの拡大に取り組んでいます。

プラモデルならではの「つくる」面白さについて

- ① 自分の手でつくるので、そのキャラクターがいつそう好きになる
- ② 自分でつくるので、構造や機構がわかる知的な面白さがある
- ③ プラスチックは塗装や改造がしやすく、自分だけのアレンジが可能

プラモデルづくりを楽しんでもらうためのホビーセンターの主な技術について

キャラクタープラモデルは子供から大人まで幅広いユーザーが対象となるため、誰がつくっても完成でき、仕上がりに満足していただけることを第一に商品を開発しています。

- ① **キャラクターの再現と組み立てやすさの両立を追求した商品開発**
- ② **設計から金型製作までデジタルデータで通貫した精度の高いプラモデルづくり**
コンピューター上で設計した3次元データを3次元プリンターでダイレクトに検証。完成したデータをもとにコンピューター制御で精度の高い金型を製作しています。
- ③ **組み立てに接着材を必要としないスナップフィット**
接着剤を使わずブロックのようにはめ込むだけでパーツを組み上げられます。そのために、ベテランの金型職人が1/100ミリ単位での調整を行っています。
- ④ **多色多重成形**
4種類のプラスチックを同時に成形する独自開発の射出成形機を装備。パーツの色分けや、ひとつのパーツに複数の色を入れたり、異なる性質のプラスチックの組み合わせで可動関節の一体成形が可能です。
- ⑤ **タッチゲート**
通常のプラモデルでは部品の切り離しにニッパーなどの刃物を必要としますが、道具の扱いが難しい状況が想定される製品では、手で部品を切り離せるようにパーツとランナーの接点の工作を行っています。

プラスチックをリサイクルする取り組みについて

- ① プラモデルを組み立てた後に残るランナーをユーザーから回収してリサイクルしています。（ガンバラリサイクルプロジェクト）
- ② 部位に応じてランナーの径の太さを変えるなどでプラスチックの使用量の最適化に取り組んでいます。